

やまなしの

たから【宝】



甲府市

“宝石のまち、の歴史と今を発信するミュージアム 甲府市

展示室に入ると、宝石たちの神秘的な輝きに思わず、息を呑む。ここ「山梨ジュエリーミュージアム」では、山梨と宝石にまつわる歴史文化を伝えるだけでなく、現役で活躍するジュエリー作家、職人たちの作品を展示している。「館内の展示作品は、あくまでミュージアムという立ち位置から芸術作品として取り扱っています」と案内をしてくれたのは学芸員の中村安里さん。宝石が持つ人を引き込む魅力を通して、これまで宝石産業界を支えてきた職人たちの高度な技術や功績を外へ向けてアピールしている。さらに、作品の展示だけでなく、職人たちの技術を間近で見ること



とができる「実演工房」や、ワークショップを行う「体験工房」といった施設も。「ようやく“山梨＝宝石のまち”であることが一般に認知されてきたように思えます。その中で、職人さんたちの意識も少しずつ変わってきていると感じます」と中村さんは嬉しそうに語る。

華やかに煌めく宝石を見せるだけでなく、頑固で多くを語ることのなかった職人たちの背中をそっと押し、彼らがこのまちの貴重な宝であることを次世代へ物語る場でもあるのだ。



ジュエリーデザインの今と職人の技術を伝える

山梨県立宝石美術専門学校附属ジュエリーミュージアム

Note

山梨県甲府市丸の内1-6-1 山梨県防災新館1階
やまなしプラザ内 ☎055-223-1570
開館時間 / 10:00～17:30 (入館は閉館の30分前まで)
閉館日 / 火曜日 (祝日の場合はその翌日)、年末年始
※展示替え期間など臨時休館あり 入館料 / 無料
<http://www.pref.yamanashi.jp/yjm/>



中央道 甲府昭和ICより約20分

「山梨ジュエリーの今」という展示室では、期間毎でさまざまなジュエリーデザイナーの作品を展示。右写真は、「生命の根源を表現した」という、詫間康二さんの作品「source」。彫刻技術のレベルの高さを活かしたデザインで、爬虫類モチーフに溢れ出る石のイメージが生命力を感じさせる。

